東証スタンダード・名証プレミア
証券コード：2185

2026年9月期 通期連結決算説明

CMC GROUP | 株式会社 シイエム・シイ

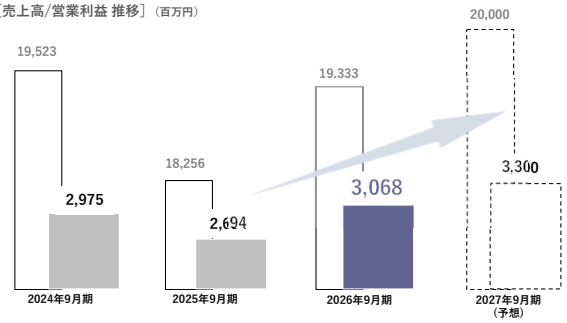
2026年9月期 通期 決算ハイライト

業績

デジタル技術活用により増収増益
増収に加え、商材構成と生産性向上が寄与

来期に向けては
事業変革の確立・定着を図り、安定成長

［売上高/営業利益 推移］（百万円）



成長戦略の取組み

＜当社が目指す姿＞

お客さま企業の情報価値を
最大化する「Living Knowledge」
（＝活きる知識）を提供

資本業務提携により
サービス開発体制強化

CMC GROUP
×
R-Edge

データプラットフォーム型
ビジネスモデル 第1弾

KAIZEN FARM
フルリニューアル

1 | 業績報告
2 | 業績見通し
3 | 株主還元
4 | 成長戦略の取組み
5 | 参考資料

1 | 業績報告

デジタル技術活用により着実に増収増益

単位:百万円

	2025年9月期	2026年9月期	前期比	予想比
売上高	18,256	19,333	＋5.9%	▲3.3%
売上総利益	6,904	7,622	＋10.4%	-
営業利益	2,694	3,068	＋13.9%	＋2.3%
営業利益率	14.8%	15.9%	＋1.1ポイント	＋0.9ポイント
経常利益	3,205	3,406	＋6.3%	＋3.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,149	2,248	＋4.6%	＋2.2%
EPS	164.12円	174.00円	＋9.88円	＋4.03ポイント
ROE	10.2%	10.0%	▲0.2ポイント	-

利益項目はいづれも過去最高

5

【売上高】
前期比5.9％増の193億33百万円。

【営業利益】
前期比13.9％増の30億68百万円。

【経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益】
為替差益等により、それぞれ、34億円、22億円。

以上の結果、利益項目はいずれも過去最高、ROEは10%。

事業分類別売上高

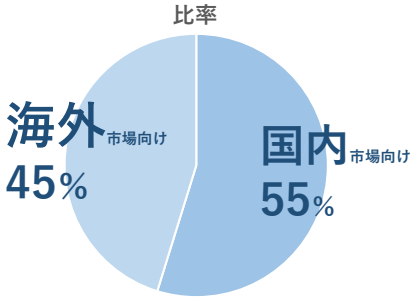
Manuals　：製品モデルサイクルがプラス影響
Knowledge：データ利活用支援は計画通り

単位:百万円

売上高	2025年9月期		2026年9月期		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比
Manuals	6,505	35.6%	7,609	39.4%	17.0%
Knowledge	10,987	60.2%	10,973	56.8%	▲0.1%
その他	763	4.2%	749	3.9%	▲1.8%

ご参考）仕向け先別売上高

前期比増加率	
国内	0.7%増加
海外	13%増加



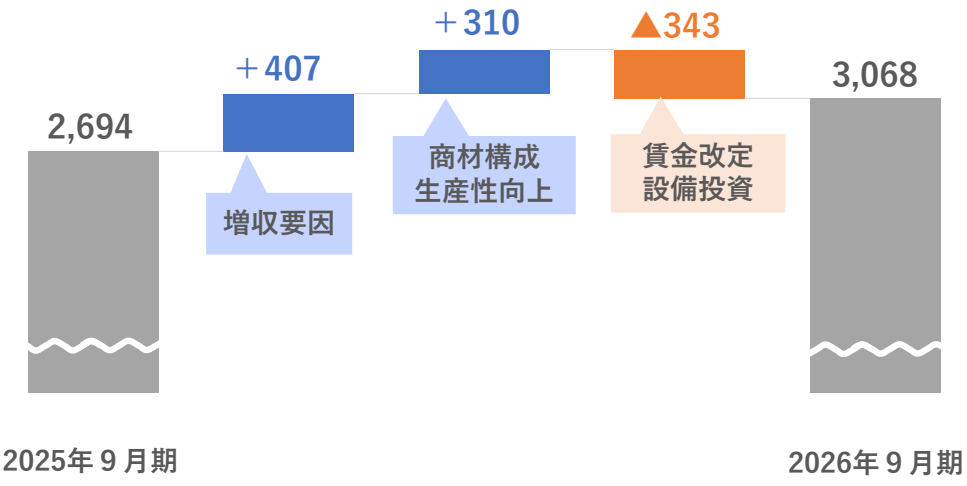
6

【Manuals】
製品モデルサイクルの影響等により、
前期比17%の増収。

【Knowledge】
AIやICTのデジタル技術を活用した
現場に寄り添ったデータ作りは順調に推移も、
海外市場、特に中国の市況悪化により、概ね前期並み。

増収に加え商材構成と生産性向上が寄与

単位:百万円



【営業利益増減要因】
増収要因に加え、品質、コスト、納期のQCDを磨き上げた結果、
賃金改定や本社リニューアルといった行動変容を促す投資
によるコスト増加も、前期比増益。

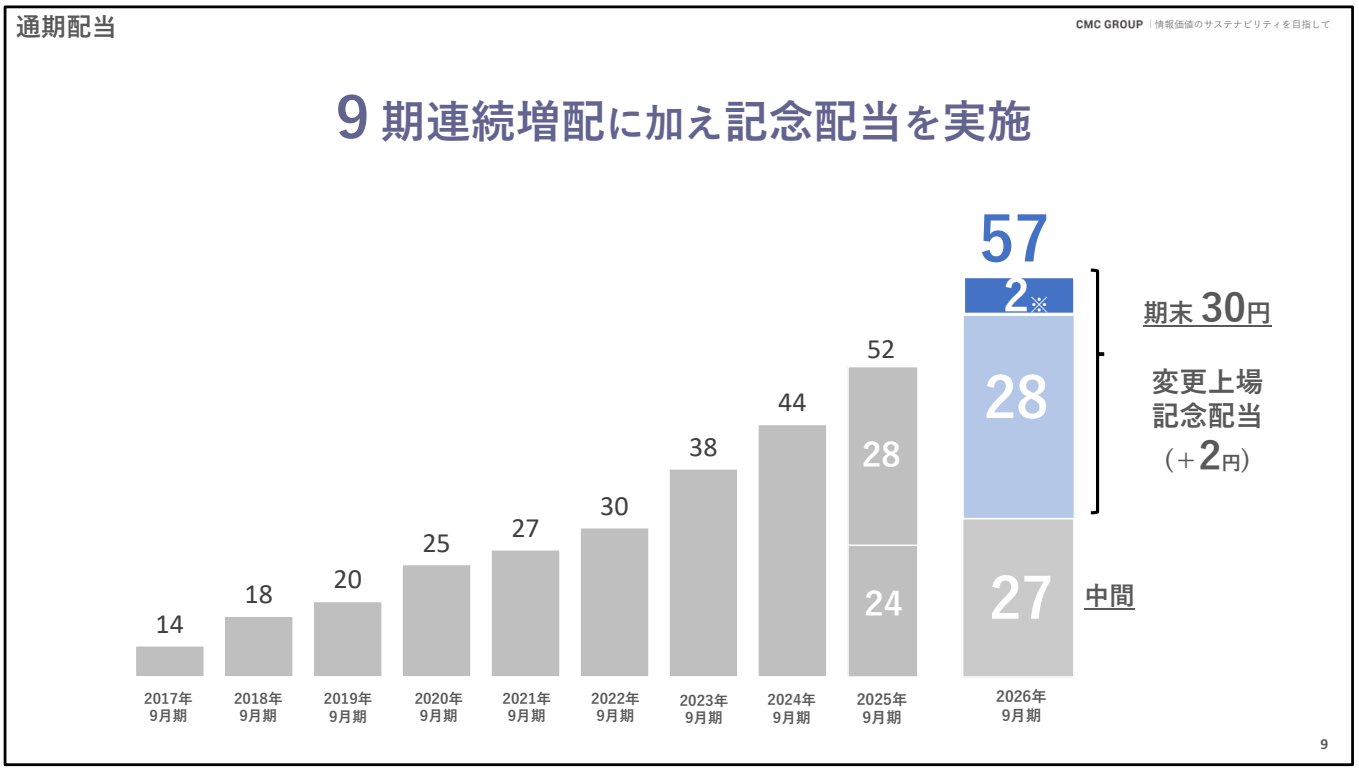
ROEを意識し資本効率の向上をめざす

単位:百万円

資産の部	2025年９月末	2026年９月末	差額
流動資産	17,951	18,840	＋889
（内、現預金）	13,123	14,406	＋1,282
固定資産	9,186	9,747	＋560
資産合計	27,137	28,587	＋1,449

負債及び純資産の部	2025年９月末	2026年９月末	差額
流動負債	3,330	2,929	▲400
固定負債	1,888	1,812	▲75
負債合計	5,218	4,742	▲476
株主資本	20,732	22,233	+1,500
その他	1,186	1,612	＋425
純資産合計	21,919	23,845	+1,926
負債純資産合計	27,137	28,587	+1,449

【貸借対照表】
純資産が増加も、ROEは10%水準を維持。
引き続き、ROEを意識し、資本効率の向上をめざす。



【通期配当の実施】
名古屋証券取引所　プレミア市場への変更上場記念配当2円を加え、
期末配当は30円、9期連続の増配。

2 | 業績見通し

事業変革の確立・定着を図り、安定成長

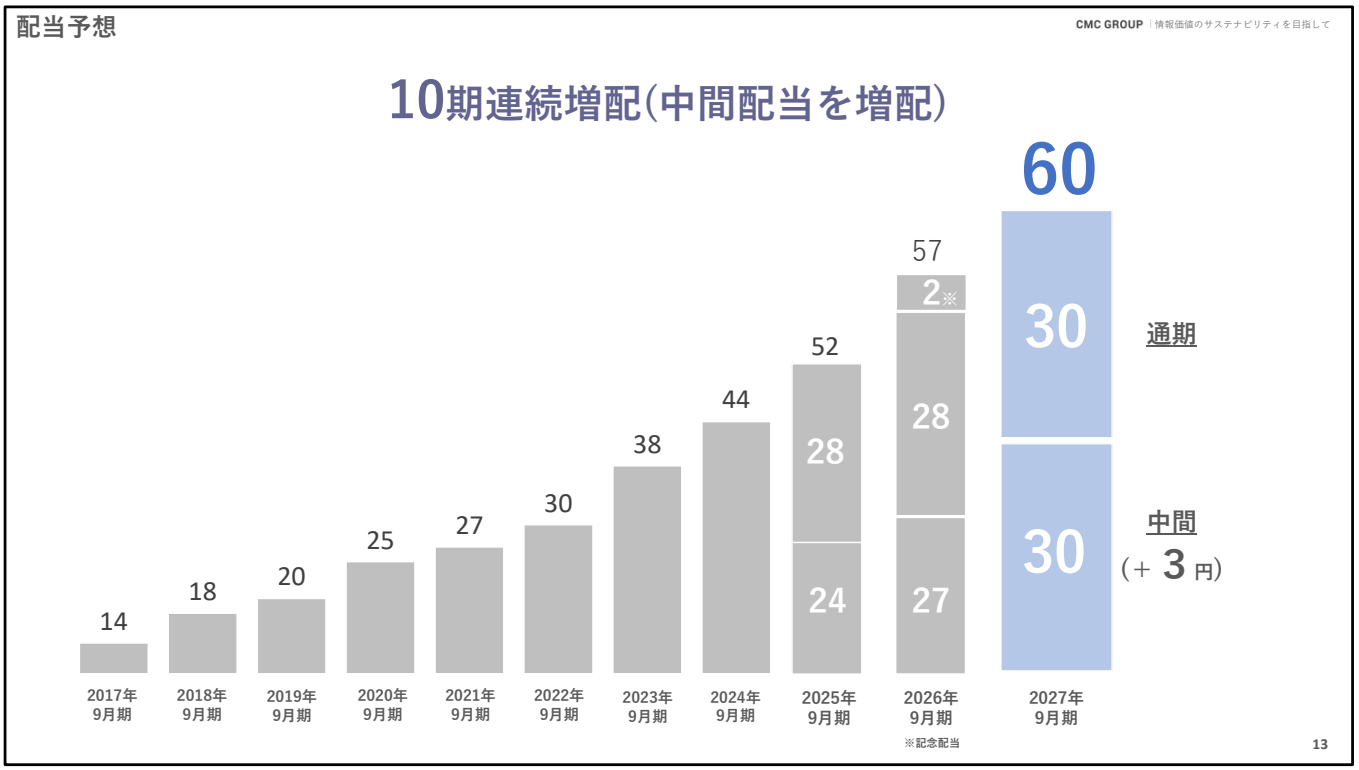
単位:百万円

	2026年９月期	2027年９月期（予想）	前期比
売上高	19,333	20,000	＋3.4%
営業利益	3,068	3,300	＋7.5%
営業利益率	15.9%	16.5%	+0.6ポイント
経常利益	3,406	3,500	＋2.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,248	2,300	＋2.3%
EPS	174.00円	178.00円	+4.00円
ROE	10.0%	9.4%	▲0.6ポイント

11

【業績見通し】
増収増益、安定成長を予想。
中期経営計画の最終年度であり、
ビジネスモデル変革の確立・定着を図る1年とする。

3 | 株主還元



【配当予想】
安定的に継続的な増配方針のもと、
中間配当を3円増額し30円、年間配当60円予想、
10期連続の増配を予想。

今後の業績の進捗状況によっては、更なる増配も検討。

インサイダー取引規制*により買付を見合わせ

項目	内容	取得結果
取得期間	2025/11/12 ~2026/9/30	2026/9/30時点
株式の種類	当社普通株式	当社普通株式
株式の総数	30万株（上限）	約3.5万株
取得額の総額	6億円（上限）	約6千万円

*2026年8月 R-Edge社と資本業務提携を締結
<https://www.cmc.co.jp/cms/wp-content/uploads/2026/08/oshirase_20260820.pdf>

【自己株式の取得】
8月に発表したR-Edge社との資本業務提携という
インサイダー情報のため、取得実績は10％程度。

今後については、市場や株価の動向をみて、機動的に実施を検討。

4 | 成長戦略の取組み

お客さま企業の情報価値を最大化する
Living Knowledge（=活きる知識）を提供



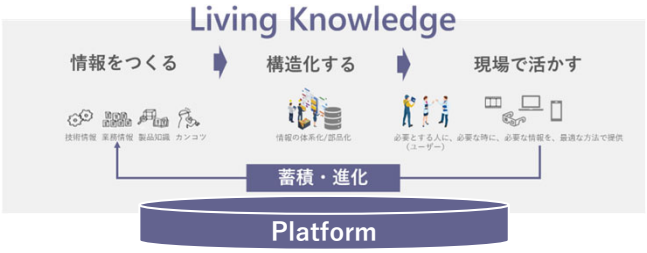
「Living Knowledge」は、商標出願中です

【当社が目指す姿】
基盤とAI等のデジタル技術を活用し、
お客さま企業の情報価値を最大化する
「Living Knowledge」の提供を目指す。

事業体制

資本業務提携によりサービス開発体制を強化

CMC GROUP
×
R-Edge



株式会社R-Edgeとの資本業務提携について
＜https://www.cmc.co.jp/cms/wp-content/uploads/2026/08/oshirase_20260820.pdf＞

【変革に向けた体制強化】
株式会社R-Edgeとの資本業務提携により開発体制を強化し、
データプラットフォーム型ビジネスモデルの実現を加速。

AI搭載ツールと伴走支援による業務改善支援サービス
業務情報の資産化と活用を目指す

KAIZEN FARM フルリニューアル



長年培ってきた業務改善の知見をAIに搭載

×



改善の定着を実現する伴走支援

KAIZEN FARM公式サイト<https://kaizenfarm.jp/>

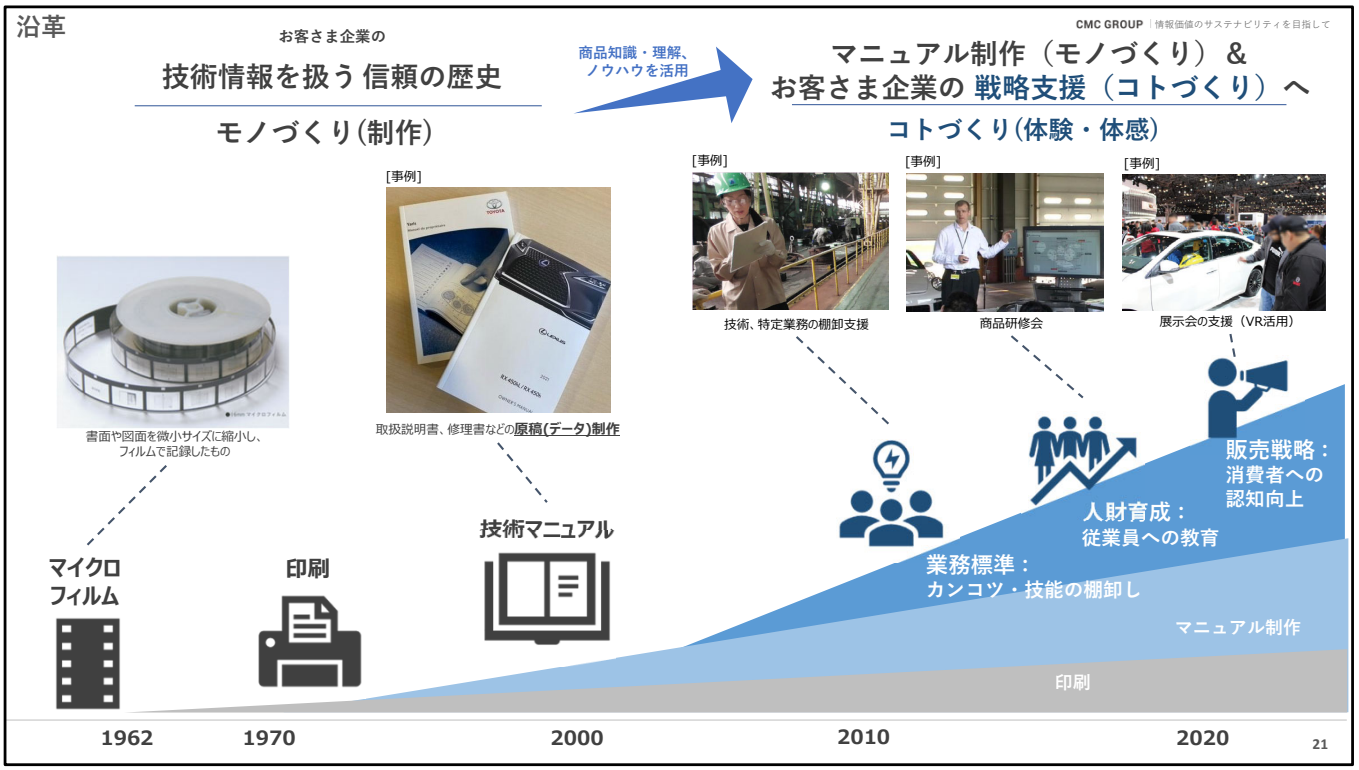
【データプラットフォーム型ビジネスモデル 第1弾】
2026年10月に業務改善支援サービス
「KAIZEN FARM」をフルリニューアル。

改善専用AIと伴走支援を通じて、
企業の業務情報というナレッジを資産化、
運用できるサービスを提供。

CMC GROUP

2027年9月期 第1四半期累計期間の決算発表は、
2027年2月10日(水)を予定しております。

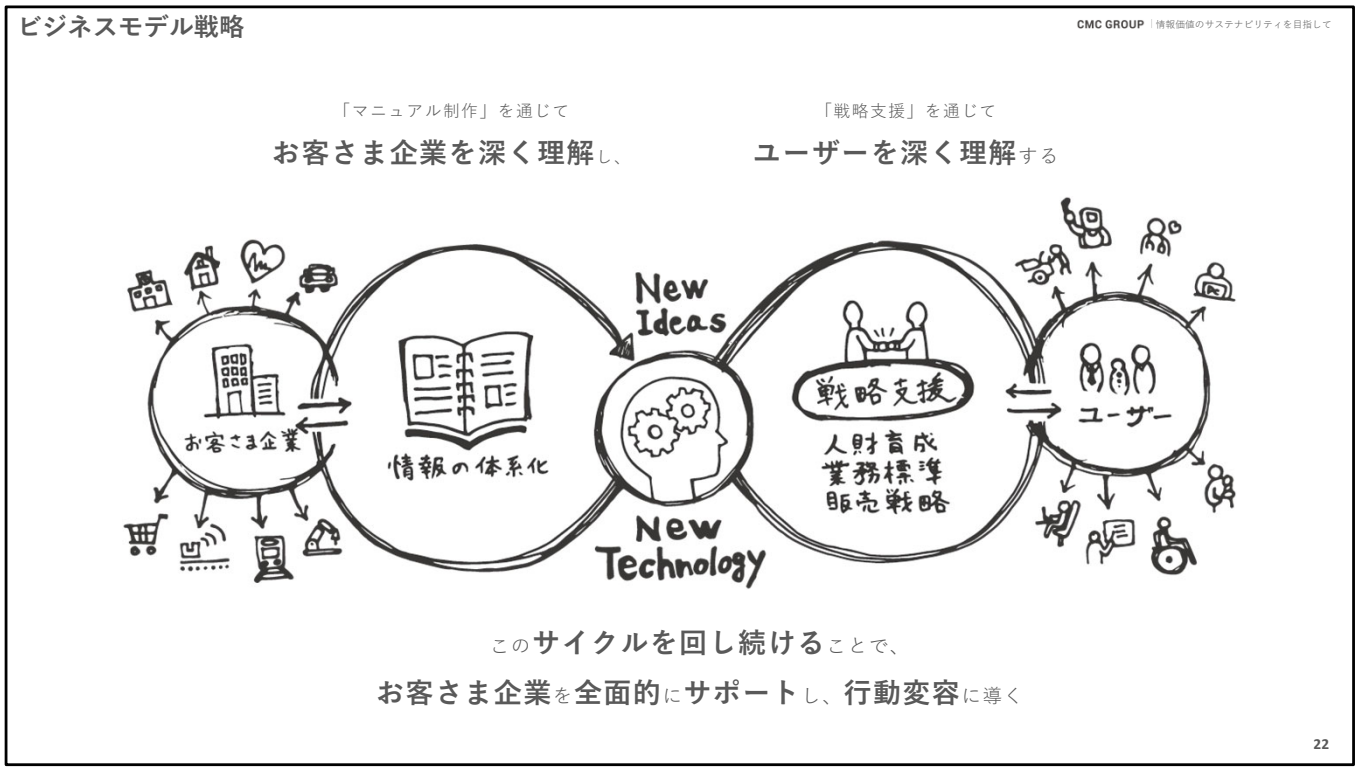
5 | 参考資料



・企業（商材）の寿命は約30年。
お客さま企業の技術情報を扱い続けながら、時代の変化に対応し、商材を変化。

モノづくり：マイクロフィルムにはじまり、印刷、技術マニュアルなど
コトづくり：業務標準、人財育成、販売戦略など
業界拡大：モビリティ・製造業・サービス業

・情報を必要とする人へ
「必要な時に、最適な方法で、必要とする」情報を伝える、という
ビジネスの本質は変えず、時代に合った形にビジネスモデルを変革・成長させる。



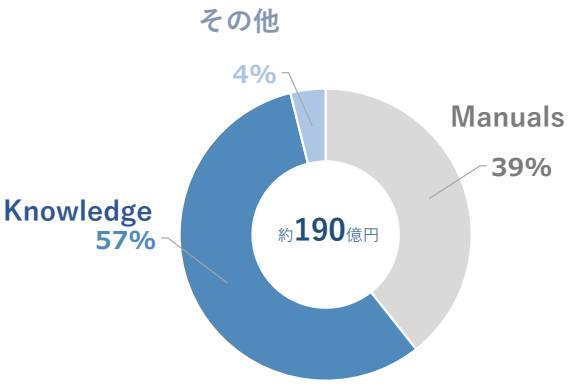
【当社グループのビジネスモデル戦略】

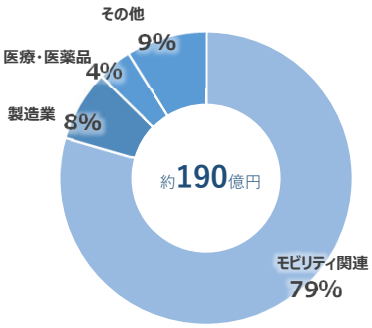
・「情報の体系化」とは、
技術情報・お客さま情報・製品知識・現場でのカンコツなど、
お客さまを深く理解すること。

・「戦略支援」とは、
「情報の体系化」で培ったノウハウを活用し、
人財育成・業務標準・販売戦略などを通じて、
お客さま企業を全面的にサポートすること。

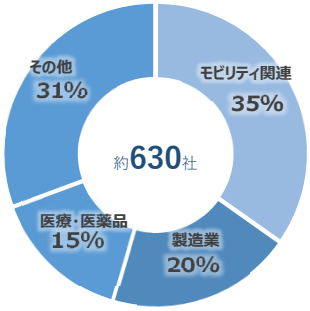
経営概況 （2026年9月期末時点）

売上構成





顧客構成



海外拠点（2026年11月11日時点）

North America

アメリカ



CMC PRODUCTIONS USA, INC.

Europe

ポーランド



CMC Group Poland Sp. zo.o.

オランダ



CMC Group Europe B.V.

フランス



CMC Group Europe B.V.

Asia

中国



広州国超森茂森信息科技有限公司
北京国超森茂森網絡科技有限公司

台湾



CMC Group Taiwan Co., Ltd,

タイ



CMC GROUP ASIA CO., LTD.

海外

7ヶ国10拠点

経営指標

連結損益計算書	単位	24年9月期通期	25年9月期通期	26年9月期通期	27年9月期　予想
売上高	百万円	19,523	18,256	19,333	20,000
売上総利益	百万円	7,275	6,904	7,622	—
営業利益	百万円	2,975	2,694	3,068	3,300
経常利益	百万円	3,182	3,205	3,406	3,500
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	2,078	2,149	2,248	2,300
売上総利益率	%	37.3	37.8	39.4	—
営業利益率	%	15.2	14.8	15.9	16.5
経常利益率	%	16.3	17.6	17.6	17.5
当期純利益率　※1	%	10.6	11.8	11.6	11.5

※1　当期純利益率＝親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 売上高

その他の指標	単位	24年9月期通期	25年9月期通期	26年9月期通期
BPS(１株当たり純資産額)	円	1,554.78	1,667.76	1,813.19
EPS(１株当たり当期純利益)	円	156.72	164.12	174.00
ROE	%	10.5	10.2	10.0
ROA	%	12.4	12.0	12.2
PER	倍	7.6	10.4	11.1
配当性向	%	28.1	31.7	32.8
従業員数	名	862	825	776

将来の見通しについて

この資料は、株式会社シイエム・シイ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
以上を踏まえ、投資をおこなう際は、投資家の皆さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

［**お問い合わせ先**］
株式会社シイエム･シイ 事業戦略部 戦略企画室 IR担当　052-322-3386
ＩＲサイト　https://www.cmc.co.jp/ir/